

令和2年度事業報告

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な機能をもつ組織として、地域住民をはじめ、民生委員・児童委員、福祉協力員、社会福祉法人等福祉施設、保健・医療、教育等関係機関、ボランティア等と連携しながら、住民参加による地域福祉活動を展開している。

近年、核家族化や少子高齢化の急速な進展、地域における住民相互のつながりの希薄化、地域社会や家族形態の変容、個人の価値観や生活様式の多様化等を背景に地域の福祉課題は複雑、複合化している。

本会が上三川町と一体的に策定した「第3次地域福祉活動計画」(平成29年3月)では、「支えあい(愛) 助けあい(愛) つながり感じて暮らすまち」を基本理念とし、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、上三川町に暮らすすべての人が安心して、生きがいのある生活が送れるよう、周りを気遣う温かな思いやりにあふれ、地域での助け合い・支え合いによる地域福祉のまちを目指していくこととしている。

この基本理念のもと、令和2年度は計画実施の4年目として、各種の事業活動を展開した。

令和2年度より各自治会に設置をした「福祉協力員」は、地域福祉に特化した活動を担い、身近な地域でのさりげない見守りや声掛け活動を実践し、地域福祉活動の活性化につながった。今後もその活動を広く住民に啓発して、住民相互のネットワークを構築し、誰もが安心した生活ができる地域づくりを推進していく。

また国が提唱している「地域共生社会の実現」に向け、全7地区社協事業に位置付けた「くろねえ会議(第2層協議体)」は、地域の支え合いについて事例検討を実施し、それぞれの立場でどのようなサポートができるのかを話し合い、支え合い・見守り活動をイメージすることができた。また、個人情報取扱いについて手引きを作成し、安心した活動が展開できるよう体制を整備した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の猛威により様々な社会生活が制限を受け、本会も会議や事業を中止、規模縮小、書面開催により対応した。また、新型コロナウイルスの影響により収入が減少し生活が困窮した住民へは「新型コロナウイルス特例貸付」の相談・申請手続きを関係機関と連携し実施した。さらに、地域活動を展開する地区社協やサロン、食事サービスボランティアには、活動時における感染拡大防止のため「非接触型体温計」を貸与し、活動の継続を支援した。

I. 基本目標 1 地域福祉活動を担う人づくり

より多くの住民に地域福祉活動への参加・協力を促すため、福祉・人権教育の充実によりすべての住民の福祉意識の向上に努めるとともに、交流活動を推進します。

また、ボランティアセンターの運営・強化を進め、地域で中心となって活躍できるボランティアの育成やあらゆる人の社会参加を支援し、多様性を尊重した協働のまちづくりを推進します。

(第3次地域福祉活動計画より抜粋)

1 福祉・人権教育及び交流活動の推進

(1) 福祉教育

各小・中・高校からの相談に応じ、講師の紹介・出前講座を開催。

出前講座・・・8回

講師及びボランティアへの協力依頼

職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・8回

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため外部講師の派遣は中止とした。

福祉教育受講児童・生徒数・・・・延べ257人

(2) 福祉教育連絡会

開催期日	内容
2月16日(火)	新型コロナウイルスの影響により書面開催

(3) ふくしアクションプログラム事業

上三川高校を対象に、本会与協働で企画・実施する福祉教育・ボランティア学習にかかる経費を助成する。(100,000円)

開催期日	学習内容等	参加者
7月22日(水)	事前学習「ふくしとは何か」・高齢者についての講話	家庭クラブ3年生 26人
7月31日(金)	手作りマスクの寄付 町内高齢者施設3カ所 町外高齢者施設3カ所	家庭クラブ代表者 14人
12月12日(土)	栃木県高等学校家庭クラブ連盟第69回 研究会で活動報告	参加学校等

(4) ふくしチャレンジスクール

新型コロナウイルスの影響により中止。

(5) 第28回中学生・高校生サマースクール

新型コロナウイルスの影響により中止。

(6) サマースクールフォローアップ事業

新型コロナウイルスの影響により中止。

(7) 小・中学生向け認知症サポーター養成講座

開催期間	回数	会場	延べ受講者数
通年	2回	各小・中学校等	150人

(8) 第29回ふれあい健康福祉まつり

新型コロナウイルスの影響により中止。

なお、参加協力団体へのアンケート調査や意見交換会を実施。

参加団体意見交換会

部会	期日	時間	会場	参加団体
展示・売店部会	11月11日(水)	午後1時30分	いきいきプラザ	19団体
総務部会 ふれあい部会	11月12日(木)			7団体

(9) 令和2年度地域福祉功労者表彰式

新型コロナウイルスの影響により、例年の「かみのかわ福祉のつどい」は中止し、表彰式のみを開催。

開催期日	時間	会場	参加者
3月3日(水)	午前10時~11時	上三川いきいきプラザ 大会議室	6人

表彰状：福祉関係職永年勤続者及び福祉団体役員永年勤続者（4人）

伝達式：県民福祉のつどい及び県老人クラブ大会における表彰者の伝達
（5人・4団体）

(10) ミニサロンの設置

自治会単位の小地域で実施する「ミニサロン」の開設を支援。

新規開設 2自治会（井戸川・上神主）

※非接触型体温計を貸与

自治会名	場所	開催日	設立年度	月平均利用者数
桃畑自治会	公民館	毎月第1水曜日	H27	22人
願成寺自治会	公民館	毎月第2火曜日	H27	13人
下多功自治会	公民館	毎月第2金曜日	H27	11人
鞆堂自治会	公民館	毎月第4土曜日	H28	11人
西汗下自治会	公民館	毎月第1水曜日	H28	22人
東館北部自治会	代表者宅	毎月第1月曜日	H28	13人
下町3区自治会	中央公民館	毎月第2金曜日	H29	30人
坂上本田自治会	公民館	毎月第4土曜日	H30	13人
下町1区自治会	公民館	毎月第2月曜日	H30	10人
並木自治会	公民館	毎月第1金曜日	R1	18人
ゆうきが丘第3自治会	ゆうきが丘集会所	毎月第2土曜日	R1	10人

大山第二自治会	公民館	毎月1回	R 1	開催なし
天神町自治会	公民館	毎月1回	R 1	10人
美里自治会	公民館	毎月1回	R 1	開催なし
井戸川自治会	公民館	毎月1回	R 2	6人
上神主自治会	公民館	毎月1回	R 2	開催なし
合計				189人

(11) いきいきサロンの支援

主な活動内容 おしゃべり、紙工作、児童との交流、保健師による運動指導
地域包括支援センター職員による介護予防出前講座等

※非接触型体温計を貸与

サロン名	場所	開催日	設立年月日	利用者数
本郷小地区	本郷地域福祉センターきらきら館	毎月第1月曜日	H15.9.12	18人
本郷北小地区	本郷北コミュニティセンター	毎月第1木曜日	H16.4.15	23人
上三川小地区	いきいきプラザ団体事務室	毎月第1～3水曜日	H13.4.2	7人
北小地区	石田コミュニティセンター	毎月第2、4金曜日	H11.4.1	4人
坂上小地区	坂上コミュニティセンター	毎月第2土曜日	H16.8.4	開催なし
明治小地区	明治コミュニティセンター	毎月第2、4金曜日	H14.2.22	12人
明治南小地区	明治南コミュニティセンター	毎月第3水曜日	H13.11.29	20人
合計				84人

(12) いきいきサロン連絡会

新型コロナウイルスの影響により連絡会は中止、資料の送付等により情報提供を実施。

(13) 生きがいサロンの開催

開催状況（陶芸・ふくべは高齢者生きがい活動作業所）

※非接触型体温計を貸与

サロン名	開催期日	開催時間	回数	受講者
陶芸	毎週月・木曜日	午前8時30分～午後3時	70回	25人
ふくべ細工	毎週火・金曜日	午前9時～午後3時	50回	13人
大正琴	毎月第1・3金曜日	午後1時30分～3時30分	10回	7人
歌謡	毎月第1～3火曜日	午前10時～12時	1回	29人
社交ダンス	毎月第1～4金曜日	午後1時30分～3時30分	開催なし	15人
歌声	毎月第4土曜日	午前10時～12時	開催なし	44人

○生きがいサロンフェスティバル 新型コロナウイルスの影響により中止。

(14) 買い物交流ツアー

新型コロナウイルスの影響により中止。

2 福祉ボランティアの育成・活動支援

(1) 居場所サポートボランティア養成講座
新型コロナウイルスの影響により中止。

(2) ボランティアフォローアップ研修
居場所サポートボランティアまたは訪問ボランティア養成講座を受講した方のスキルアップを目的に開催。(町健康福祉課と共催で実施)

開催期日	内 容	会 場
11月2日(月)	ボランティアに活用できる認知症への接し方、脳を活性化!「シナプソロジー」体験	いきいきプラザ 大会議室

○受講者数 37人

(3) 訪問ボランティア養成講座
新型コロナウイルスの影響により中止。

(4) 手話奉仕員養成講座(入門課程) (講師 宇都宮市聴覚障害者協会)

開催期間	期 日	時 間	回 数	受講者数
10月～3月	毎週木曜日	午後1時30分～3時30分	19回	6人

(5) 朗読奉仕員養成講座中級コース(栃木県視覚障害者福祉協会との共催事業)
新型コロナウイルスの影響により中止

(6) 朗読ボランティア研修 (講師 田崎浩子氏)

開催期間	期 日	時 間	回 数	受講者数
7月～1月	毎月第1木曜日	午前10時30分～12時	7回	17人

(7) 点字講習会 (講師 笠原悦子氏)

開催期間	期 日	時 間	回 数	受講者数
10月～1月	毎週水曜日	午後1時30分～3時30分	13回	4人

(8) 点字ボランティア研修 (講師 時本勅子氏)

開催期間	期 日	時 間	回 数	受講者数
7月～1月・3月	毎月第2水曜日	午前10時～12時	8回	8人

(9) ボランティアセンター運営の充実

① ボランティアに関する相談・登録・紹介・情報提供

相談件数(通常)・・・・・・・・・・・・・・・・・・59件

(くろねえポイント・訪問ボランティア)・・・・14件

マッチング件数(通常)・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件

(くろねえポイント・訪問ボランティア)・・・・2件

- 個人ボランティア登録数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172人
- ② ボランティア連絡協議会（V連）
 - 協力団体会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15団体（1,815人）
 - 個人会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71人
- ③ V連加入団体以外の把握ボランティア団体・・・・・・ 3団体（60人）

II. 基本目標 2

地域福祉活動を支える助け合い・支え合いの仕組みづくり

身近な小地域（自治会、地区社協）における福祉活動の活性に向けて、地域ごとの実態を把握し、活動の支援に努めます。また、多様化する住民の福祉ニーズに対応するため、公的な福祉サービスだけではなく、住民をはじめ、自治会、民生委員児童委員、ボランティアなどの関係団体や町、町社協などの機関が連携して、地域包括ケアシステムの構築も見据えた地域ネットワークの形成に努め、住民参加による助け合い・支え合いのある町づくりを推進します。

（第3次地域福祉活動計画より抜粋）

1 福祉コミュニティづくりの推進

（1）地区社協活動への援助

※非接触型体温計を貸与

地区社協名	助成額(会費還元分)	食事サービス助成額	合計
本郷小地区社協	262,000円	107,000円	369,000円
本郷北小地区社協	324,000円	165,000円	489,000円
上三川小地区社協	848,000円	149,000円	997,000円
坂上小地区社協	143,000円	73,000円	216,000円
北小地区社協	199,000円	62,000円	261,000円
明治小地区社協	278,000円	138,000円	416,000円
明治南小地区社協	200,000円	71,000円	271,000円
合計	2,254,000円	765,000円	3,019,000円
◎ 助成金（会費還元分）算出根拠 前年度の会費（普通会費・特別会費）の3分の1 ◎ 食事サービス助成金算出根拠 （200円×前年度配食対象者数）×12月＋基本額4万円			

（2）地区社協連絡協議会

- 総 会 5月20日（水） 午前10時 規模縮小開催 8名参加
- 研修会 新型コロナウイルスの影響により中止
- 連絡会 3月10日（水） 午後6時30分 規模縮小開催 15名参加

(3) 食事サービス事業の支援

一人暮らしの高齢者や両老世帯、障がい者世帯等にボランティアが手作りのお弁当を届け、地域でのつながりや交流を深める。

※非接触型体温計を貸与

実施地区	場所	開催日	利用者数	ボランティア数
本郷小地区	本郷地域福祉センター きらきら館	毎月第2水曜日	24人	6人
本郷北小地区	本郷北コミュニティセンター	毎月第1月曜日	45人	12人
上三川小地区	上三川いきいきプラザ	毎月第1火曜日	39人	30人
北小地区	石田コミュニティセンター	毎月第2土曜日	8人	9人
坂上小地区	坂上コミュニティセンター	毎月第2土曜日	12人	9人
明治小地区	明治コミュニティセンター	毎月第1月曜日	35人	17人
明治南小地区	明治南コミュニティセンター	毎月第2水曜日	11人	9人
合 計			174人	92人

(4) 地域ネットワーク構築「くろねえ事業」

① くろねえ会議（第2層協議体）

各地区社協事業に位置付け、地域の支え合いや地区社協事業について話し合い、地域住民による見守り活動を推進するために個人情報の取扱いについて意見交換し、手引きを作成した。

開催地区	回数	延べ参加人数
本郷小地区社協	開催1回／書面2回	35人／109人
本郷北小地区社協	開催1回／書面2回	35人／109人
上三川小地区社協	開催1回／書面2回	37人／184人
坂上小地区社協	開催1回／書面2回	22人／87人
北小地区社協	書面2回	77人
明治小地区社協	開催1回／書面2回	34人／124人
明治南小地区社協	開催1回／書面2回	22人／68人

② くろねえ個別会議

地域の困っている人の支援について事例を取り巻く住民や関係機関が地域でできる支え合いの活動について話し合いを実施。

○開催回数 5回

○対象者 5名

○延べ参加人数 40名

(5) 食事サービスボランティア連絡会

新型コロナウイルスの影響により中止し、事業の改善を図るため実施状況や課題についてアンケート調査を実施。

(6) 福祉協力員の設置・研修会（新）

民生委員児童委員・福祉協力員合同研修会（福祉協力員83名）

開催期日	内 容	会 場	対象者	参加者
10月6日(火) 本郷小地区 本郷北小地区	福祉協力員の役割と 具体的活動について	いきいきプラザ 大会議室	民生委員児童委員 福祉協力員 地区社協会長	26人
10月7日(水) 上三川小地区 坂上小地区				36人
10月9日(金) 北小地区 明治小地区 明治南小地区				38人

(7) 福祉機器・イベント機材の貸し出し（ ）内は件数

車椅子(大人用70)、点字器(1)、聴覚福祉機器(1)、テント(4)、拡声器(2)、プロジェクター(1)、スクリーン(1)、輪投げ台(1)

2 自主活動の環境づくり

(1) 上三川いきいきプラザ内団体事務室の管理と施設の活用

① 団体事務室の運営

○団体事務室運営委員会

新型コロナウイルスの影響により書面開催。

○利用登録団体数・・・・・・22団体

○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、上三川いきいきプラザ臨時休館日は団体事務室の利用も中止し資料の印刷等のみの利用とした。

○上三川いきいきプラザ臨時休館等に伴う団体事務室の利用中止日

令和2年3月3日(火)～5月31日(日)

令和3年1月15日(金)～2月28日(日)

月	利用団体数	時間：分	開館日(日)	利用者数(人)
4	25	28：19	28	44
5	10	10：15	28	25
6	23	24：38	28	103
7	20	24：26	28	99
8	17	20：35	28	97
9	20	35：40	28	148
10	22	31：25	28	137
11	28	36：42	28	126
12	18	31：07	28	84
1	5	5：15	28	14

2	2	1 : 0 0	2 0	2
3	2 9	4 6 : 2 5	2 8	1 4 6
合 計	2 1 9	2 9 5 : 4 7	3 2 8	1 , 0 2 5
月平均	1 8	2 4 : 3 6	2 7	8 5
1日平均	0 . 6	0 : 5 4	—	3 . 1

3 関係機関との連携強化

(1) 各種団体との連携と支援

- ・民生委員児童委員協議会（54人）
- ・ボランティア連絡協議会（15団体・71人）
- ・手話サークル「なかま」（12人）
- ・朗読コスモスの会（17人）
- ・点字サークル「ぽつてん」（8人）
- ・楽らく隊（25人）
- ・介護者の会たんぽぽ（23人）
- ・すまいるファーム（14人）
- ・シニアクラブ（1,400人）
- ・身体障害者福祉会（34人）
- ・手をつなぐ育成会（31人）
- ・アイの会（視覚障がい者の会）（11人）
- ・遺族会（271人）
- ・ろう者の会（11人）
- ・ぴよんぴよんの会（14人）

○団体自主運営助成金を交付（共同募金配分金）

- 上三川町シニアクラブ（100,000円）
- 上三川町身体障害者福祉会（16,800円）
- 上三川町手をつなぐ育成会（16,400円）

(2) 顔の見える関係会議

開催期日	内 容	会 場	対象者	参加者
8月12日（水）	感染症をテーマとした 情報交換	いきいきプラザ 大会議室	医療・介護・福 祉関係従事者	27人
10月28日（水）	情報共有のあり方につ いて考える			24人

※各事業所1名の参加に制限し開催

(3) 地域ケア会議・・・28件（くろねえ個別会議を含む）

(4) 保健、医療、福祉等関係機関との連携強化

(5) 町内社会福祉法人との連携・連絡会議の開催

町内9つの社会福祉法人へ「公益的な取り組み」及び社会福祉法人連絡会議への参加意向についてアンケート調査を実施。社会福祉法人連絡会議は1月28日に開催を予定したが新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け中止とした。

(6) 介護予防ケアマネジメント業務

(7) 高齢者支援協議体（第1層協議体）への参画・・・2回

(8) 主任介護支援専門員研修

開催期日	内 容	参加者
7月20日(月)	主任介護支援専門員として地域ケア会議等を活用して実践力を高める	12人
11月10日(火)	介護支援専門員に対する指導支援について考える	10人

Ⅲ. 基本目標3 自立した生活を送ることができる基盤づくり

だれもが相談しやすい環境づくりに向けて、相談窓口の充実を図るとともに、相談窓口や福祉サービス等の情報を住民が入手しやすいよう、情報提供体制を充実します。また、住み慣れた地域での生活が続けられるよう、福祉サービスの利用支援に努めるとともに、生活困窮者など、社会的に支援が必要な人へのサービス提供に努めます。

(第3次地域福祉活動計画より抜粋)

1 相談支援体制の充実

(1) 総合相談窓口の充実

① 個別支援相談受付件数 708件

相 談 内 容	件数
総合相談	32
生活福祉資金(コロナ特例貸付を含む)	664
社会福祉金庫	2
日常生活自立支援事業(あすてらす)	3
成年後見制度	2
緊急対応食事サービス事業	5

② 地域支援相談受付件数 7件

相 談 内 容	件数
団体関連	2
居場所づくり関連	5

(2) 地域包括支援センターの受託

① 総合相談支援業務 相談件数・・・364件 対応件数・・・7,542件

② 権利擁護業務

相 談 内 容	相談件数	対応件数
成年後見制度関連	8	202
虐待対応、カンファレンス	12	170

③ 包括的、継続的ケアマネジメント支援業務

内 容	回数
ケアマネジャーのサポート	70回

④ 介護予防ケアマネジメント

内 容	回数等	延べ参加人数
地域での出前講座	8回	125人

⑤ 地域包括ケア会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2回

(3) 心配ごと相談事業の受託

開催日時	場 所	相談員	相談件数
毎月第2、第4水曜日 午前9時～12時 (祝祭日等を除く)	いきいきプラザ 共用相談室	民生児童委員 8人 人権擁護委員 6人 行政相談委員 2人	7件 開設日数 10日

2 情報提供体制の充実

(1) 「社協だより」の発行

4月、5月、8月、10月、12月、2月 年6回発行（各10,000部）

(2) ホームページの充実

事業関連等の最新情報を随時掲載し、情報提供の充実を図った。

(3) コミュニケーション支援事業の受託

① 手話通訳者登録数・・・・・・42人

② 要約筆記者登録数・・・・・・43人（内 手話・要約筆記重複登録数 4人）

○手話通訳者及び要約筆記者の派遣（派遣件数及び時間）

医療		学校・幼稚園		公的業務		その他家庭		ろう協関係		電話通訳		計	
件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間
109	244:02	4	22:03	16	64:14	9	32:00	3	7:45	1	3:07	142	373:11

※電話通訳には、窓口での件数も含む。

○窓口対応 1回（電話通訳を含む）

(4) 声の広報の配布（朗読コスモスの会の協力）

開催日時	内 容	対象者	利用人数
通年	町及び社協広報紙を朗読しCDへ録音、配布	視覚障がい者	6人

3 福祉サービスの利用支援

(1) 虐待啓発研修会（事例検討）

開催期日	内 容	会 場	参加者
3月5日（金）	虐待対応の共通理解	いきいきプラザ	6人

(2) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

- ① 利用契約者数 9件
- ② 生活支援員 12人（内職員7人）
- ③ 生活支援員活動回数 185回

(3) 成年後見制度普及啓発

開催期日	内 容	会 場	参加者
10月1日 （木）	講義 「成年後見制度のメリットデメリット」 講師 司法書士 小板橋 香子 氏	いきいきプラザ 大会議室	14人

(4) 権利擁護出前講座

- 開催回数 1回（ミニサロンにて開催）
- 参加人数 14人

(5) 成年後見制度の申立支援

- 申立申請 2件

(6) 地域包括支援センターと連携した権利擁護業務

常に地域包括支援センターと緊密に連携。虐待防止や困難を抱えた方への支援を通して利用者の権利擁護を心がけた。

(7) 指定介護予防支援事業

令和3年3月31日現在

事業対象者	64人
要支援1・2認定者	218人
指定介護予防支援利用契約者（新規）	129人
介護予防支援サービス計画作成件数	2,275件
介護予防支援サービス計画作成委託契約締結居宅介護支援事業者	28事業所
介護予防サービス計画作成委託件数	1,240件
サービス担当者会議	202回

4 社会的な支援を必要としている人への支援

(1) 認知症の人と家族の集いの場「えんがわ」の実施

会 場	回 数	延べ参加者
上三川いきいきプラザ	7回	70人
へブンリートータス	1回	9人

(2) 認知症初期集中支援チーム連絡会・・・3回開催

認知症相談・・・53件

チーム員会議・・・2件

(3) 認知症サポーター養成講座

内 容	対 象	回数	参加者
認知症サポーター養成講座	住民・手話奉仕員養成講座受講者・民生委員児童委員連絡協議会	3回	79人

※小・中学生向け2回は3ページに記載

住民キャラバンメイトが講師役となり実施（3回）

※認知症サポーター数 5,972人（令和3年3月末現在）

(4) 認知症相談会 1回・・・2件

(5) キャラバンメイトスキルアップ研修

開催期日	内 容	会 場	参加者
3月19日（金）	講演 チームオレンジとキャラバンメイト～本人・家族のおもい～ 講師 認知症の人と家族の会栃木支部 代表 金澤林子 当事者 3名	いきいきプラザ大会議室	15人

(6) 寝たきり老人紙おむつ支給事業

寝たきりの状態にあり、要介護3以上で65歳以上の高齢者に、年間15,000円の紙おむつ支給券を発行した。

利用者数・・・159人 協定業者・・・4社

(7) 理容・美容サービス料金助成事業

寝たきりの状態にあり、要介護3以上で65歳以上の高齢者に、1回の助成額1,500円の券4枚綴を発行した。

利用者数・・・83人 協定業者・・・17社

(8) タクシー料金助成事業

対象者へタクシー券を年50枚(1枚500円分)を交付した。

対 象 者	利用者数
身体障害者手帳1, 2級	144人
療育手帳A1, A2	6人
精神保健福祉手帳1級	12人
合 計	162人

(9) 緊急対応食事サービス事業

食事が確保できず生命の維持に支障をきたす恐れのある人に対し、一時的に食事を提供し各種の支援サービスにつなげた。

利用者数 ・ ・ ・ ・ ・ 5件 (延べ食数 57食)

(10) ひきこもり対策事業

毎月の事業検討会に加え、先進地の取組みを随時調査研究した。

(11) 貸付事業

貸 付 資 金 名	相 談 件 数	貸 付 件 数
生活福祉資金(県社協より受託)	664件	239件
社会福祉金庫	2件	1件

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した世帯に対する緊急小口資金貸付及び総合支援資金貸付の貸付相談、申請手続きを行政、郵便局、県社協等関係機関と連携して対応した。

申請内訳 緊急小口資金特例貸付 138件

総合支援資金特例貸付 101件

(12) 福祉車両(どりーむ号・いきいき号)の貸し出し

車いす利用の高齢者や障がい者の移動手段として車いす搭載車両2台体制で対応し、介護者や車いす利用者の負担軽減を図る。

① 新規利用登録者 ・ ・ ・ 25人

② 貸出件数 ・ ・ ・ 149件 (どりーむ号 88件、いきいき号 61件)

(13) 日常生活外出支援ボランティア事業

外出の支援が得られない高齢者・障がい者・難病患者の日常生活上の外出を登録ボランティアが支援する。

利用登録者数	延べ利用回数	登録ボランティア数	延べ活動人数
61人	3回	57人	2人

IV. 基本目標 4 安心して暮らせる地域環境づくり

子どもからお年寄りまで、町に住むだれもが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、災害等の緊急時を見越した平常時からの安否確認体制を整備するなど、地域の防災力・防犯力の向上に努めます。また安全・快適な生活が送れるよう、バリアフリーの推進に努めます。

(第3次地域福祉活動計画より抜粋)

1 安心・安全な地域づくり

(1) 地域見守りパトロール事業「地域の安全見守り隊」(発足 H18. 1. 13)

① 連絡会

新型コロナウイルスの影響により中止した。

なお、全隊員へアンケート調査を実施し、活動についての改善策を検討し回答した。
※登録隊員数194人

② 機動力整備事業(機動部隊の発足 H27. 4. 8)

青色回転灯を装備した車両で町内を巡回。7小学校区に担当を配置し、見守り体制の強化を図る。

実施期間	活動区域	見守り対象	隊員数
通年	町内全域	主に児童・生徒	12人

2 地域の防災力・防犯力の向上

(1) 災害時の支援体制の確立

大規模災害時対応模擬訓練及び災害ボランティア研修

期 日	内 容	参加者
1月28日(土)	本会職員を対象に、災害ボランティアセンターの意義や役割について研修し、災害時における対応力の向上を図った。	職員 11人

3 人にやさしいまちづくり

(1) 子供の遊び場設置費及び補修費助成事業の推進

申請自治会 2件

V. 法人運営

1 社会福祉協議会の基盤強化

(1) 理事会・評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

①理事会（12人）・・・・・・・・・・・・・・・・・・4回

★第1回理事会 新型コロナウイルスの影響により書面開催
決議日：令和2年6月4日（木）

議案	議案内容
報告第1号	令和元年度予算の流用について
報告第2号	第29回上三川町ふれあい健康福祉まつりの開催中止について
議案第1号	評議員選任候補者の推薦について
議案第2号	評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について
議案第3号	令和元年度事業の承認について
議案第4号	令和元年度社会福祉事業収入支出決算の承認について
議案第5号	令和元年度公益事業収入支出決算の承認について
議案第6号	書面による令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
議案第7号	書面による令和2年度定時評議員会の開催について

★第2回理事会 令和2年9月24日（木） 午後1時30分～

議案	議案内容
報告第3号	第3次地域福祉活動計画の進捗状況について
報告第4号	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業実施方針について
議案第8号	定款施行細則の一部改正について
議案第9号	表彰規程の一部改正について
議案第10号	助成金等交付規程の一部改正について
議案第11号	令和2年度資金運用方針について
議案第12号	令和2年度社会福祉事業補正予算第1号について
議案第13号	令和2年度公益事業補正予算第1号について
議案第14号	令和2年度第2回評議員会の開催について

★第3回理事会 令和2年12月16日（水） 午後1時30分～

議案	議案内容
報告第5号	令和2年度事業の執行状況について
議案第15号	令和2年度社会福祉事業補正予算第2号について
議案第16号	令和2年度公益事業補正予算第2号について
議案第17号	令和2年度第3回評議員会の開催について

★第4回理事会 令和3年3月22日（月） 午後1時30分～

議案	議案内容
議案第18号	事務局規程の一部改正について
議案第19号	処務規程の一部改正について
議案第20号	職員の旅費に関する規程の一部改正について
議案第21号	福祉協力員の設置に関する規程の一部改正について
議案第22号	個人情報保護規程の一部改正について
議案第23号	嘱託職員就業規則の一部改正について
議案第24号	嘱託職員規程の廃止について
議案第25号	臨時職員就業規則の一部改正について
議案第26号	職員の妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアルハラスメントの防止に関する規程の一部改正について
議案第27号	令和2年度社会福祉事業補正予算第3号について
議案第28号	令和2年度公益事業補正予算第3号について
議案第29号	役員等賠償責任保険契約について
議案第30号	令和3年度事業計画について
議案第31号	令和3年度社会福祉事業収入支出予算について
議案第32号	令和3年度公益事業収入支出予算について
議案第33号	令和2年度第4回評議員会の開催について

②評議員会（24人）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4回

★定時評議員会 新型コロナウイルスの影響により書面開催
決議日：令和2年6月25日（木）

議案	議案内容
報告第1号	令和元年度予算の流用について
議案第1号	令和元年度事業の承認について
議案第2号	令和元年度社会福祉事業収入支出決算の承認について
議案第3号	令和元年度公益事業収入支出決算の承認について

★第2回評議員会 令和2年10月2日（金） 午後1時30分～

議案	議案内容
報告第2号	第3次地域福祉活動計画の進捗状況について
報告第3号	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業実施方針について
議案第4号	令和2年度社会福祉事業補正予算第1号について
議案第5号	令和2年度公益事業補正予算第1号について

★第3回評議員会 令和2年12月23日（水） 午後1時30分～

議案	議案内容
報告第4号	令和2年度事業の執行状況について
議案第6号	令和2年度社会福祉事業補正予算第2号について
議案第7号	令和2年度公益事業補正予算第2号について

★第4回評議員会 令和3年3月26日（金） 午後2時00分～

議案第8号	令和2年度社会福祉事業補正予算第3号について
議案第9号	令和2年度公益事業補正予算第3号について
議案第10号	令和3年度事業計画について
議案第11号	令和3年度社会福祉事業収入支出予算について
議案第12号	令和3年度公益事業収入支出予算について
追加議案第13号	理事の選任について

③評議員選任・解任委員会（5人）・・・・・・・・・・1回

★第1回評議員選任・解任委員会 新型コロナウイルスの影響により書面開催
決議日：令和2年6月11日（木）

議案	議案内容
議案第1号	評議員の選任について

④監事会（2人）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

令和2年5月26日（火） 午後1時30分～2時45分

⑤補助団体監査（上三川町監査委員2人）・・・・・・・・・・1回

令和2年7月10日（金） 午前9時00分～10時20分

(2) 民間財源の充実

① 社協会員（会費）募集

(ア) 自治会長社協会費説明会

新型コロナウイルスの影響により書面開催。

(イ) 会員募集期間・・・・・・・・令和2年7月1日～8月7日

(ウ) 実績額（総額）・・・・・・・・7,835,000円

内 訳	賛助会員（1口5,000円）	960,000円	192口
	施設会員（1口5,000円）	60,000円	12口
	特別会員（1口3,000円）	396,000円	132口
	普通会員（1口1,000円）	6,413,000円	6,413口
	その他	6,000円	

② 共同募金運動

(ア) 栃木県共同募金会上三川町支会運営委員会の開催

○第1回運営委員会

新型コロナウイルスの影響により書面開催

決議日：令和2年6月4日（木）

議 題

* 令和元年度共同募金事業報告について

* 令和元年度共同募金決算の承認について

* 令和2年度共同募金B募金目標額について

○第2回運営委員会

期日及び場所 令和2年9月24日(木) いきいきプラザ

議 題

* 令和2年度共同募金事業計画（案）について

* 令和2年度共同募金予算（案）について

○実施期間 令和2年10月1日～11月30日

実績額（総額）. 4, 802, 373円

内訳	戸別募金	3, 041, 849円
	事業所募金	1, 415, 101円
	学校募金	184, 998円
	職域募金	85, 678円
	バッジ募金	60, 000円
	その他の募金	14, 736円
	利息	11円

(イ) 災害たすけあい義援金

義援金名	件数	金額
熊本県南豪雨災害義援金	3件	40, 000円
令和2年7月豪雨災害義援金	6件	155, 000円

③ 「しあわせ基金」の安全かつ有利な運用

(ア) 基金総額 119, 623, 911円

運用内訳 普通預金 5, 673, 911円

定期預金 20, 000, 000円

有価証券 93, 950, 000円

* 基金の一部を取崩し、各種地域福祉活動に充当する。

④ 善意銀行

(ア) 金品、物品の預託・払い出し

○金品預託 34件 664, 652円

○物品預託 6件

マスク3件、フェイスシールド1件、医療用ガウン1件、

次亜塩素酸1件、紙芝居用木製キット一式

※ 以上のほか、平成29年度に策定した第3次地域福祉活動計画に基づく各種の事務事業について、見直しも含め随時、調査・研究を行った。